

木綿街道の活性化は

地域との交流から

～昔の遊びで平田の輪を広げよう!～

木綿街道の現状・課題

○ 現状

- ・ 人が少ない (若い人が特に) ... 観光客アンケートでは
19才以下は0.0%
- ・ 空き家がいくつかある (2~3軒)

○ 課題

- ・ 若い人 (小中高生) を増やす
- ・ 空き家をなくす → 空きスペースの活用

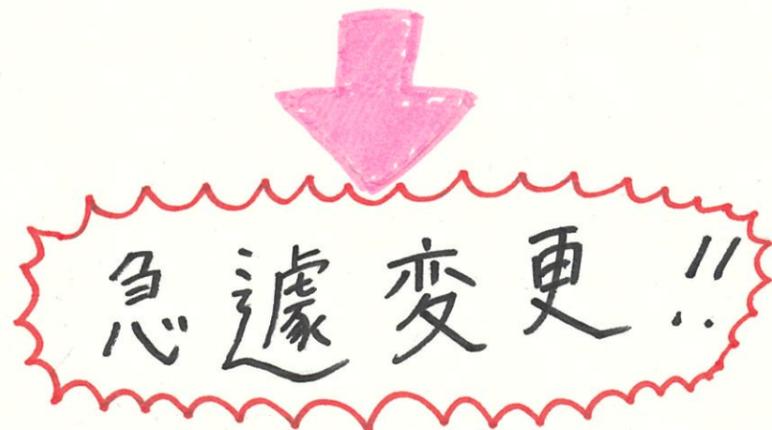
③ 以前の企画

(初めに企画していたこと)

- ・ 学習スペースを木綿街道につくる。
- ・ テスト期間に 2時間半勉強する。
- ・ 空き家を活用する。



木綿街道の人たちはこの企画をしたところで、どこで、誰が、いつ何をしているかわからないので、このような企画は、木綿街道に必要ないと言われました。



～活動内容～

- 。木綿街道のお年寄りの方々と
平田地域の小学生と一緒に
昔ながらの遊びで交流を深める。

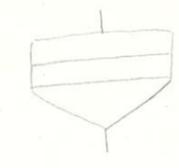
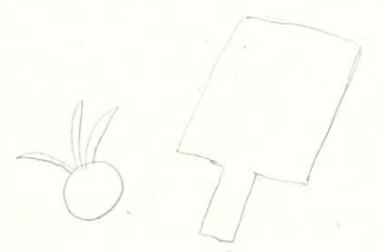
~この活動のねらい~

・なぜこの活動をしようと思ったか。

→ 平田の地域の人と子供たちが交流できる
きっかけがほしかったから。

・どうして昔の遊びをしようと思ったか。

→ お年寄りの方が知っている昔の遊びを子供たちに
伝承してほしかったから。



○他の班との違い

他の班の企画：観光客をよぶ ⇒ **活性化**

3班の企画：地域の人と周りの人との交流 ⇒ **活性化**

「活動予定」

○活動日

1月19日(日)

○時間

午前9時～11時30分

○場所

木綿街道交流館

○対象

平田小学校1～3年生

遊び内容

○ おり紙 ⇒ 地域の方から子供に直接教えてあげることで、より交流が深まる。

○ カルタ ⇒ 大人数で遊べるので盛り上がる。

○ 新聞紙 ⇒ 色々な遊びに生かすことができる。

ポイント

みんなでおにぎりなどを作って 楽しい時間にする。

⑧
活動を始めて感じたこと

- この活動を通して木綿街道のことを知る
ことができたのでよかった
- 土也土域の方々と関わる機会ができたので
よかった
- これからの平田地域の繁栄と活性化に役立つ
活動になるとよい

。平田の問題について
本気で考えることができた。

。地域の人々の思いと自分たちの
思いを一つにするのが難しかった。

。地域のために動くという二つ
を体験できた。

16) 今後について

今後、木綿街道でたくさんの方

人が交流できる場が

増えてほしい。

若い人が木綿街道を訪れてほしい。